

(第1回) 国道161号小松拡幅13工区 ルート検討委員会

議事概要

1. 日時 平成30年12月28日(金) 10:00~11:30
2. 場所 国土交通省近畿地方整備局 滋賀国道事務所 3階 第3,4,5会議室
3. 出席者

[委員]

いしかわ 石川	しんじ 慎治	滋賀県立大学人間文化学部 准教授
いしざき 石崎	よしゆき 祥之	立命館大学経営学部 教授
おがわ 小川	けいいち 圭一	立命館大学理工学部 教授
きしだ 岸田	きよし 潔	京都大学大学院工学研究科 教授
たにぐち ◎谷口	ひろし 浩志	(社会福祉法人)しみんふくし滋賀 専務理事
つちやま 土山	きみえ 希美枝	龍谷大学政策学部 教授
はやし 林	みちこ 倫子	関西大学環境都市工学部 准教授

※敬称略、五十音順 ◎は委員長

4. 議事

- (1) 国道161号小松拡幅13工区ルート検討委員会規約(案)について
- (2) 第1回ルート検討委員会資料
国道161号小松拡幅13工区
- (3) 議事概要

<委員からの主な意見>

■ルート検討委員会規約(案)について

- ・規約(案)について一同了承。
- ・委員長は、各委員の互選により、谷口委員とする。

■第1回ルート検討委員会資料について

- ・ルート検討にあたっては、土砂災害や浸水等の災害を回避することが重要。
- ・滋賀県の取組の中で、健康しが推進プランやピワイチの取組があり、車だけでなく、自転車の安全性を考慮したルート選定が重要。
- ・山側バイパスルートの場合、現道の交通量が減少することから、地域住民の琵琶湖への親水性が高まることも評価すべき。
- ・山側バイパスルートの場合、観光や景観の観点から現道の活用を検討すべき。